

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	245	2年	後期	看護学科	必修	看護管理学Ⅰ Nursing ManagementⅠ	15	1
担当教員								
松井 美由紀								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
○	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
○	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
組織として効率的・効果的かつ創造的な看護サービスを提供するうえで必要な看護管理の基本的な視点について、理解することができる。さらに、看護職として多様なメンバーと協働し、組織（チーム）が発展していくことを推進するマネジメントを考えることができる。								
到達目標（授業目標）								
①看護マネジメントとそのプロセスについて説明することができる。								
②看護ケア（業務）マネジメントについて、これまでの実習経験に合わせて説明することができる。								
③看護サービスマネジメントと資源管理（モノ・ヒト・カネ・情報・時間）について説明することができる。								
④看護の質向上への取り組みについて、政策・経営・質評価の3つの視点で説明することができる。								
⑤看護管理に求められる力としてセルフマネジメント・リーダーシップ・コミュニケーションの視点で説明することができる。								
⑥看護管理がなぜ必要なのか、自分が行える看護管理とは何かを説明することができる。								
回 授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	看護管理の基本（1）：看護管理の定義、組織とは何かについて講義する。							
2回	看護管理の基本（2）：看護管理プロセス、看護マネジメントについて講義する。							
3回	看護ケアマネジメント：看護ケアマネジメント・業務調整について事例をもとに考えた課題にそって講義する。							
4回	看護サービスマネジメント（1）：モノの管理、コスト管理、労務管理について講義する。							

5回	看護サービスマネジメント（2）：情報管理、人材育成について講義する									
6回	看護の質向上への取り組み（1）：医療・看護の質評価、経営という視点からの看護について講義する									
7回	看護の質向上への取り組み（2）：看護政策・看護職のキャリアについて講義する									
8回	看護管理に求められる力：リーダーシップ理論、動機づけ理論、コミュニケーション、セルフマネジメントについて講義する									
9回										
10回										
11回										
12回										
13回										
14回										
15回										
16回										
17回										
18回										
19回										
20回										
21回										
22回										
23回										
24回										
25回										
26回										
27回										
28回										
29回										
30回										
成績評価方法及び基準										
各授業後に講義での学びの記述内容から学修評価する（リアクションペーパー：20%）、各課題に対する取り組み（事前予習）をミニテストや学びの記述内容から評価をする（30%）、試験はレポートとし、課題テーマにそって記述し、その内容で理解度を評価する（50%）。トータル60点以上を合格とする。										
教科書	ナーシング・グラフィカ「看護管理」メディカ出版、2023年版									
参考図書等										
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）										
・課題については、授業時間外にて実施する。あらかじめ授業までに予習をしておくとう理解がしやすい。										
関連科目										
前科目	201	看護学概論	140	医療概論（共通）	209	基礎看護学実習Ⅱ				
後科目	165	医療と経済（共通）	249	総合実習	246	看護管理学Ⅱ	141	医療と法（共通）	143	チーム医療（共通）
実務家教員										
看護師（医療機関）	松井 美由紀									
備考	・課題については、授業内でお知らせします。									